

- 問1 明治政府は、西洋の進んだ技術を取り入れて国力を高める「殖産興業」の政策を推進しました。その象徴的な出来事として、1872年に日本で最初の鉄道が東京の新橋との間で開通した都市はどこですか。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
1. 横浜 2. 神戸 3. 長崎 4. 新潟
- 問2 19世紀後半の明治維新时期において、木戸孝允らが版籍奉還や廃藩置県を断行した目的として最も適切なものはどれですか。 (2016年 福岡県公立入試 類似)
1. 天皇を中心とした中央集権国家のしくみを整えるため 2. 幕府の権威を回復させ、封建的な社会制度を維持するため 3. 鎖国体制を強化し、海外文化の流入を制限するため 4. 各藩の自治権を強め、地方分権的な政治を進めるため
- 問3 明治新政府が、それまでの太陰太陽暦を廃止して太陽暦を採用した背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 山口公立入試 類似)
1. 欧米諸国と共通の基準を導入することで、近代国家としての体裁を整えるため 2. 古くから伝わる干支や暦の習慣を全国一律に禁止し、キリスト教を国教化するため 3. 農業生産を向上させるために、月の満ち欠けに基づいた農作業の伝統を保護するため 4. 藩ごとに異なっていた独自の暦を統一することで、中央集権的な軍事動員を容易にするため
- 問4 文明開化の時期、明治政府がそれまでの暦を廃止し、新たに太陽暦を導入した主な背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 岡山公立入試 類似)
1. 西洋諸国と共通の暦を用いることで、国際的な交流や商取引を円滑にし、国家の近代化を図るため 2. 農業生産を安定させるために、古くから使われてきた季節の区分をより厳格に国民に守らせるため 3. 仏教の行事に基づいた伝統的な生活習慣を全国で統一し、宗教の力を借りて社会を安定させるため 4. 江戸時代から続く飛脚制度を維持するために、各地の到着時刻を正確に管理する必要があったため
- 問5 明治維新の年表において、1869年の「版籍奉還」と1873年の「地租改正」の間に実施された、中央政府の権限を強化するための改革の内容として正しい説明はどれですか。 (2022年 愛媛公立入試 類似)
1. 藩を廃止して地方行政を政府の直轄とし、旧藩主に代わって中央から官僚を派遣した。 2. 武士の特権を廃止するために、刀を差すことを禁止する廃刀令を発布した。 3. 江戸幕府が結んだ不平等条約を改正するため、岩倉具視を代表とする使節団を欧米へ派遣した。 4. 学制を公布し、身分や性別に関係なくすべての子供が小学校に通う制度を整えた。
- 問6 明治政府が実施した地租改正において、それまでの年貢（租税）の仕組みから大きく変更された点として正しい説明を選んでください。 (2024年 長崎公立入試 類似)
1. 課税の基準を収穫高から地価に変更し、土地の所有者が現金を納めるようになった。 2. 課税の基準を収穫高から地価に変更し、土地を耕作している小作人が米を納めるようになった。 3. 課税の基準を土地の面積から収穫高に変更し、土地の所有者が現金を納めるようになった。 4. 課税の基準を土地の面積から収穫高に変更し、土地を耕作している小作人が米を納めるようになった。
- 問7 明治政府が断行した士族の特権廃止は、当時の社会に大きな混乱を招きました。これらの政策がもたらした歴史的な影響と背景について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 栃木公立入試 類似)
1. 特権を奪われ生活に困窮した士族たちの不満は、各地での武装蜂起を招き、最大規模の反乱である西南戦争へとつながった。 2. 士族は自発的に帯刀を辞め、家禄の返上を申し出たため、新政府は一切の軍事的混乱を経験することなく近代化を達成した。 3. 政府は士族の不満を解消するために、徴兵令を一時中断し、旧来の武士団をそのまま近代的陸軍として組織直した。 4. 家禄の廃止によって浮いた予算は、すべて江戸時代の借金返済に充てられ、産業の育成や軍備の拡張に使われることはなかった。
- 問8 明治政府は、欧米列強に対抗し近代国家を建設するために「富国強兵」という基本方針を掲げました。この方針のもと、経済を豊かにして産業を育成しようとする取り組みと、近代的な軍隊をつくるために国民に兵役の義務を課した法令の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2020年 岡山公立入試 類似)
1. 殖産興業と徴兵令 2. 版籍奉還と地租改正 3. 文明開化と学制 4. 廃藩置県と大日本帝国憲法
- 問9 インドにおいて、主要な港湾都市と内陸を結ぶ鉄道が開通した1867年の9年前に起きた、イギリスの支配に不満を持つ人々が起こした大規模な抵抗運動は何ですか。 (2023年 東京都公立入試 類似)
1. インド大反乱（セポイの乱） 2. 第一次世界大戦 3. アヘン戦争 4. 非暴力・不服従運動
- 問10 明治政府が「文明開化」と呼ばれる大規模な生活や制度の西洋化を後押しした理由の一つに、外交上の大きな目的がありました。その目的として最も適切な説明を選びなさい。 (2023年 岩手県公立入試 類似)
1. 欧米諸国に日本が近代的な文明国であることを認めさせ、不平等条約の改正を有利に進めるため。 2. 江戸時代から続く鎖国体制を維持するために、外国の技術だけを部分的に取り入れるため。 3. 日本独自の伝統文化を否定し、すべての国民をキリスト教徒に改宗させるため。 4. 武士の特権を維持し、江戸時代の身分制度をより強固なものに再編するため。
- 問11 1889年に公布された大日本帝国憲法の草案を作成するにあたり、中心的な役割を果たした人物と、彼が最も参考にした国の憲法の組み合わせとして適切なものを選択してください。 (2026年 青森公立入試 類似)
1. 伊藤博文がドイツ（プロイセン）の憲法を参考にした 2. 板垣退助がフランスの憲法を参考にした 3. 大隈重信がイギリスの憲法を参考にした 4. 木戸孝允がアメリカの憲法を参考にした
- 問12 1873年から実施された地租改正では、当初、税率は地価の3%と定められていました。しかし、負担の重さに苦しむ農民による反対一揆が各地で激化したため、明治政府は1877年に税率を何%に引き下げましたか。 (2019年 大阪公立入試 類似)
1. 1% 2. 2.5% 3. 3.5% 4. 5%
- 問13 中江兆民が紹介したルソーの思想などは、当時の自由民権運動を支える理論となりました。この運動の目的や当時の状況を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2023年 群馬県公立入試 類似)
1. 特定の藩の出身者たちが政治の実権を握る「藩閥政治」を批判し、国会の開設を政府に求めた。 2. 足尾銅山の鉱毒被害を解決するため、天皇への直訴や環境保護を訴える運動を行った。 3. 大正時代に、内閣が議会を無視して政治を行うことに反対する「第一次護憲運動」を展開した。 4. 武士の特権を奪う四民平等の政策に反対し、士族による武力反乱を全国で引き起こした。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 横浜	明治政府は近代化を急ぐため、イギリスの技術や資金を導入して鉄道の建設を行いました。1872年（明治5年）に新橋・横浜間で日本初の鉄道が営業を開始したことは、人々の生活や意識が西洋風に変化する「文明開化」を象徴する出来事となりました。横浜は当時、海外への玄関口となる開港場として重要な役割を担っていました。
問2	答え 1 天皇を中心とした中央集権国家のしくみを整えるため	欧米列強に対抗できる近代国家を築くためには、地方の権力を中央政府に集中させる必要がありました。木戸孝允は、土地と人民を天皇に返還させる版籍奉還や、藩を廃止して県を置く廃藩置県を通じて、政府が全国を一体的に統治できる基盤を作りました。
問3	答え 1 欧米諸国と共通の基準を導入することで、近代国家としての体裁を整えるため	明治維新期の改革は、欧米の先進的な制度を取り入れることで日本が近代国家であることを内外に示し、不平等条約の改正などを有利に進める狙いがありました。暦の改正は「文明開化」の象徴的な出来事の一つであり、国際的な基準に合わせることで外交や貿易、交通の利便性を高める目的がありました。また、当時の政府にとっては、旧暦のままでは必要だった「閏月（うるうづき）」による余分な月給の支払いを回避できるという財政上の利点も背景にありました。
問4	答え 1 西洋諸国と共通の暦を用いることで、国際的な交流や商取引を円滑にし、国家の近代化を図るため	当時の日本は、不平等条約の改正を目指し、西洋に劣らない近代的な制度を整える必要がありました。暦を西洋基準に合わせることは、鉄道の運行、学校教育、さらには国際的なビジネスにおける時間の概念を統一することを意味し、日本の社会を西洋的な時間感覚へと適応させる重要な役割を果たしました。飛脚制度は文明開化において郵便制度へと取って代わられたため、背景としては不適切です。
問5	答え 1 藩を廃止して地方行政を政府の直轄とし、旧藩主に代わって中央から官僚を派遣した。	1871年に実施された廃藩置県は、版籍奉還後の不十分な統治体制を打破するために行われました。版籍奉還では旧藩主が「知藩事」として各地を治め続けていたため、依然として各地域に独自の権力が残っていました。これを完全に廃止し、政府が任命した府知事や県令を派遣することで、政府の命令が全国に行き届く中央集権体制を確立したことが、その後の地租改正や徴兵令といった大規模な改革の土台となりました。
問6	答え 1 課税の基準を収穫高から地価に変更し、土地の所有者が現金を納めるようにした。	明治政府は、天候や作柄によって税収が変動する不安定な状況を解消し、国家予算を安定させる必要がありました。そのため、土地の価値（地価）を基準に税額を固定し、さらに市場価格の影響を受けないよう、米による物納ではなく現金で納めさせる仕組みを整えました。この際、土地の所有権を認める「地券」が発行され、納税義務者は耕作人ではなく土地の所有者と定められました。
問7	答え 1 特権を奪われ生活に困窮した士族たちの不満は、各地での武装蜂起を招き、最大規模の反乱である西南戦争へとつながった。	士族の特権を奪う一連の政策は、彼らのプライドと生活手段を奪うものでした。この不満が爆発し、佐賀の乱、神風連の乱、萩の乱といった反乱が相次ぎ、1877年には西郷隆盛を指導者とする西南戦争が勃発しました。この敗北によって、武力による政府批判は終焉を迎え、以後は言論による自由民権運動へと変化していきました。
問8	答え 1 殖産興業と徴兵令	明治政府は、欧米列強に対等な立場を築くため、経済面では官営模範工場の設立などを通じて近代産業を育成する「殖産興業」を推進しました。また、軍事面では1873年に「徴兵令」を施行し、満20歳以上の男子に兵役を義務付けることで、武士に代わる国民による近代的な軍隊の創設を目指しました。これらは富国強兵を実現するための車の両輪となる重要な政策でした。
問9	答え 1 インド大反乱（セポイの乱）	1857年に発生したインド大反乱（セポイの乱）は、イギリスの支配に対する大規模な抵抗運動でした。イギリスはこの反乱を鎮圧した後、東インド会社を解散させてインドを直接支配下に置きました。この反乱の鎮圧から9年後の1867年には、軍事的な統制力の強化と、綿花などの資源輸送の効率化を目的として、主要な鉄道網の開通が実現しました。
問10	答え 1 0 欧米諸国に日本が近代的な文明国であることを認めさせ、不平等条約の改正を有利に進めるため。	明治政府にとって、幕末に結ばれた不平等条約の改正は国家の悲願でした。西洋の文化や制度を積極的に取り入れることで、日本が欧米に劣らない「文明国家」であることを対外的に証明し、対等な立場での条約交渉を目指すという背景がありました。そのため、単なる流行としてではなく、国策として西洋化が推し進められました。
問11	答え 1 1 伊藤博文がドイツ（プロイセン）の憲法を参考にした	初代内閣総理大臣を務めた伊藤博文は、君主権の強いドイツ（プロイセン）の憲法を調査・研究し、日本の国情に合わせた憲法草案を作成しました。自由民権運動による憲法制定の要求が高まる中、政府は天皇主権の体制を維持するために、強力な権限を持つプロイセン式のモデルを採用しました。
問12	答え 2 2 2.5%	明治政府は当初、財政を安定させるために地価の3%を現金で納めさせる地租改正を行いましたが、農民の負担が旧来と変わらず重かったため、各地で大規模な反対一揆（地租改正反対一揆）が起きました。これを受けて政府は、士族の反乱などが続く不安定な情勢の中で農民の不満を和らげるため、1877年に税率を2.5%へ軽減しました。
問13	答え 1 3 特定の藩の出身者たちが政治の実権を握る「藩閥政治」を批判し、国会の開設を政府に求めた。	ルソーの思想は「主権は国民にある」という考え方を含んでいたため、薩摩・長州藩などの一部の人間が権力を独占する藩閥政治を打破する根拠となりました。これにより、国民が選んだ議員で構成される国会の開設を求める運動が全国的に激化しました。